

南小だより

光陵中学校区 学校運営協議会
南小部会ブログ



岩見沢市立南小学校 学校だより 令和5年9月25日(月) NO. 7

やる気、自発性を引き出すコーチング…

校長 出口 哲也

10数年前、教育界で「コーチング」という言葉が話題となりました。その当時、多くの先生方が研修会などで学びました。

今、目の前にいる子どもたちは想定を超える変化が予測される未来社会を生き抜かなければなりません。そのために必要な自発性や自己肯定感、夢や希望を見だし自信をもって前進する力などを育むためには、我々教員がこの「コーチング」のスキルを今一度学ぶことの重要性は確実に増しているのではないかと強く感じ、7月に校内で紙上研修を実施したところです。

その内容については、保護者の皆さんとも共有したい情報も数多くあることから、研修で扱った資料の一部を記事といたします。

1 コーチングとは何か？

■ティーチングが「答えを与えるアプローチ」であるとすれば、コーチングは「答えを引き出すアプローチ」です。コミュニケーションを通して、相手の内側にある能力ややる気、自発性を引き出していく手法。自発的な行動を促すことに焦点を当て、相手の目的達成を支援する手法です。

■「どうして宿題やってこなかったの？」「忘れてました」「忘れないためには、ちゃんと毎日、連絡帳にメモをして帰るようにしなさい」これをティーチングといいます。どうすればうまくできるのか、先生側が持っている「答え」を伝えています。

■「宿題をやっていない理由は何？」「忘れてました」「そうか、忘れてたんだね。どうすれば、次は忘れずにできるかな？」「やる気があれば…」「そっか、今回はやる気がなかったんだ」「はい」「じゃ、どんなことがあれば宿題をやる気になれそう？」「…何か楽しみがあればできるかも」「〇〇くんにとって楽しみなことって何かな？」「ゲーム！」「じゃ、宿題が終わってゲームができると思ったら宿題も頑張れそう？」「はいっ」これがコーチングです。いきなり「解決策」を伝えるのではなく、質問をして相手に考えさせています。そうすることで、「忘れること」が問題なのではなく、「宿題をやる意欲」に左右されるのだということが子どもの口から明らかになっていきます。

■ティーチングは確かに必要なアプローチですが、「コーチが持っている以上のものは教えられない」という限界があります。

2 コーチングの3大基本スキルは、傾聴・承認・質問

■子どもの話を「聴く」。子どもがたくさん話せるように、相手が言ったことは決して否定せず「認める」。話を引き出すためにどんどん「質問する」。質問しながら相手の話を「聴く」、「認める」、そして、「質問する」の繰り返し。傾聴・承認・質問がコーチングの3大基本スキルです。

■コーチは「聴く」のです。自分の聴きたいことではなくて、相手の言いたいことを「聴く」のです。否定や評価をしないで聴くことによって、相手の意識が自分の内側に集中するようになります。

3 子どもの意欲を引き出す8つのスキル

参考図書では、「傾聴」「承認」「質問」「Iメッセージ」「リフレーミング」「フューチャーペーシング」「資源の発掘」「暗示」について紹介されています。紙面の関係で、その中の「Iメッセージ」と「リフレーミング」の2つを取り上げます。

(1) Iメッセージ

■子どもたちは、朝起きてから夜寝るまで、実に多くの「こうしなさい」「ああしなさい」「これはダメ」というメッセージを浴びて生活しています。実際に小学校低学年の子どもがいる家庭で調査した人がいました。130家庭での平均値で、1日80回、これら指示命令型の声かけがなされていたそうです。驚くべき数字です。子どもたちは、日々「自分で考える」という間を与えられないまま、行動の選択を迫られます。ですから、しだいに「自分で考えて行動する」という習慣がなくなっていくます。

■YouメッセージとIメッセージ

<p><A> 「よくがんばったね!」 「作文、上手だなあ。えらいなあ」 「いつもよく勉強しているね」 「自分ですすんでやるなんていい子だね」 「本当に努力家だね」</p>	<p> 「正直に話してくれてうれしかったよ」 「次の作文も楽しみだね。早く読みたいな」 「見ていて本当に感心したよ」 「やっておいてくれて助かったよ」 「君ならやると思っていたよ」</p>
---	---

・<A>のような言い方を「You(あなた)メッセージ」と言います。「あなたは〇〇だね」という言い方で、主語が「あなた」となります。一方、のグループは「I(私)メッセージ」と言われるもので、主語が「私は～」となる言い方です。

■Youメッセージはプラスの言葉であれば、確かにうれしくないわけではありませんが、人によっては素直に受け取ってもらえない場面があります。「あなたは〇〇だよ」と言われると、「お世辞でしょ!」ととらえる人、「わかったようなこと言わないでよ」と反発する人、「そんなことないですよ」と謙虚すぎて受け取れない人などがいます。

■Iメッセージですと、その人自身が「感じたこと」をただ伝えてもらっているのので、意外と素直に受け取れるようです。「自分はそんなつもりじゃなかったんだけど、この人はそう感じてくれたんだ」という気づきが起こります。

■Youメッセージには、どこことなく「評価」のニュアンスが感じられるのですが、Iメッセージには、相手の存在に対する「感謝」「承認」の気持ちが感じられます。だからこそ、言われた方は、自分の存在価値を実感できる言葉でもあるのです。ところが、子どもたちは意外とこのIメッセージで伝えてもらう経験が日常少ないのです。

(2) リフレーミング

■同じ絵でも、額縁を替えて飾ってみると、実に立派な絵に見えることがあります。逆に、絵の魅力を損なってしまいう額縁もあります。このように同じ事実、出来事でも額縁(フレーム)を変えて、別の角度から見てみるよう促すのが「リフレーミング」と言われるスキルです。

■「緊張」は悪いこと。あってはいけないもの。

⇒「緊張」は向上心の表れ。あっていい。

■「面接試験に落ちたこと」は失敗。マイナスの出来事。

⇒「面接試験に落ちたこと」は、次に生かせる学びと気づきの機会。

自分にとって意味あるプラスの出来事。

■額縁を差し替えることによって、子どもの気持ちは自然と前に向かっていきます。

【引用:やってみよう!コーチング 著者 石川 尚子 ほんの森出版】

【引用:子どもを伸ばす共育コーチング 著者 石川 尚子 監修者 岸 英光 柘植書房新社】

子どもに関わるすべての大人が、大切な子どもたちを勇気づけ、夢や希望を引き出すコミュニケーションスキルを高めたいものです。

☆南っ子・学習の様子☆

～R5 全国学力・学習状況調査から～

★こんなふうには学んでいます★

☆学習マナーを守る!

☆基礎・基本をしっかり!

☆自ら疑問を持ち、自ら解決!

☆友だちと協力する!

R5 全国学力・学習状況調査結果

	国語	算数
南小	67.0	66.0
北海道	66.0	61.0
全国	67.2	62.5

(正答率%)

本校6年生が4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果の分析です。この分析の結果や考察は、日頃の授業改善に生かすことを目的に行っています。正答率が低かった問題の誤答傾向の分析を行い、今後の授業に生かすべき課題を焦点化していきます。

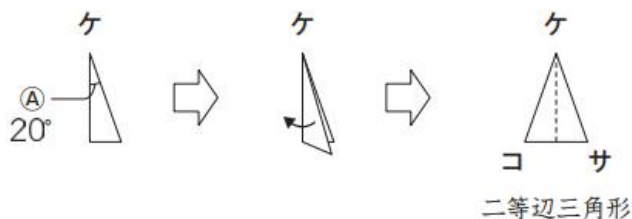
なぜ、多くの子どもたちが間違っただろう？
国語・算数で正答率が一番低かった問題を分析してみると……



算数



わたしは、①の角の大きさを 20° にしました。切って開いた三角形ケコサは、二等辺三角形になりました。



私は、切って開いた三角形を正三角形にするために、①の角の大きさをゆいなさんとちがう大きさにして切りました。

◇正答率・・・24.6%

◆誤答例◆

- ① 60° ・・・27.9%
 - ② 15° ・・・0%
 - ③ 120° ・・・0%
 - ④ 45° ・・・11.5%
 - ⑤ 90° ・・・8.2%
 - ⑥ 20° ・・・1.2%
 - ⑦ 40° ・・・18.0%
 - ⑧ 無答・・・4.9%
- 正解は 30°

切って開いた三角形を正三角形にするには、①の角の大きさを何度にするればよいですか。

答えを書きましょう。

60° と答えた人は正三角形の1つの角度がわかっている人だな。でも、重ねているからその半分だと問題文を読み取れなかったんだね。
 40° と答えた人は「ゆいなさん」の例が 20° となっていて、開くからその倍の 40° と考えてしまったかもしれないね。



算数の知識は持っているけれど、問題場面をよく読んで、考えることが必要となってきます。問題の多くは身近な生活場面での出題が見られました。

基礎・基本の定着はもちろんのこと、できるだけ授業でも日常生活と結びつけた問題や発展的に考えられる問題に取り組むことが欠かせません。

国語

Blank grid for writing answers.

〔条件〕
 ○ 学校の米作りの問題点については、「川村さんの文章」のグラフ（農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量）と「カード④」のそれぞれから分かることを書くこと。
 ○ 問題点の解決方法については、「カード⑤」をもとにして書くこと。
 ○ 六十文字以上、百字以内にとめて書くこと。

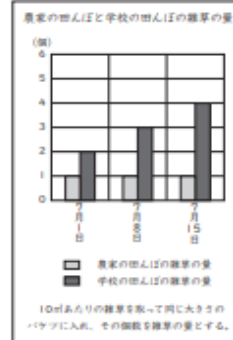
【川村さんの文章】

学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米をしょうかくすることができました。しょうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下じゅんに学校の田んぼにえさを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、ア いがいに雑草が生えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼと イ くらべてみました。 ウ まかんは7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。



このようなことに取り組み、9月の下じゅんにお米をしょうかくすることができました。

二 川村さんは、選んだカードをもとに、次の「川村さんの文章」の問題点とその解決方法について書こうとしています。あなたが川村さんなら、どのように書きますか。おどの条件に合わせて書きましょう。

◇正答率・・・26.2%

◆誤答例 ※条件不足

- ①条件2つ不足・・・14.8%
- ②条件1つ不足・・・57.6%
- ③条件3つ不足・・・4.6%
- ④無 答・・・6.6%

※その他・・・字数不足

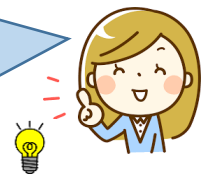
◎記述式に求められている条件とは？ ・ ・ 出題された記述式問題【条件】の文末表現から

- ◆（グラフや文章など）から **わかった・わかること** を書くこと。【読解力】
- ◆（グラフや文章など）を **もとにして** 書くこと。【引用力】
- ◆（グラフや文章など）から **言葉や文を取り上げて** 書くこと。【語彙力】
- ◆これから **自分ができそうな** ことを書くこと。【発信力・作文力】



この問題は正解になる【条件】が3つあり、全てを満たしていないと正解にならない問題だね。間違った半数以上の人（57.6%）が【条件】の3つのうち2つまでしか満たしていなかったんだね。文だけでなくグラフからわかることを書くなど、国語の学習以外の力も必要なのかな。

記述問題の【条件】提示文の文末表現から、求められている力を推測すると【読解力】【引用力】【語彙力】【発信力】【作文力】となります。どの力も国語の学習だけでなく、いろいろな教科や学習活動でも求められますし、今後、習得と発展・探究のバランスのとれた授業が必要となってくると言えます。



【10月行事予定】

- 2日(月) 視力検査週間(～10日)
- 5日(木) 児童会任命式・全校集会
- 10日(火) 児童総会
- 11日(水) 体位測定(～18日)
- 12日(木) 子ども文化祭 音楽発表
- 13日(金) 縦割り班集会・専門委員会・あゆみ配布
- 14日(土) 子ども文化祭 展示発表(～15日)
- 28日(土) 学芸会(詳細は後日お知らせいたします)

光陵中学校区 CA文化祭

日時 10月7日(土)9:00～13:00

場所 北海道教育大学岩見沢校・教育研究所

すでにチラシの配布はしておりますが、光陵中学校区学校運営協議会による文化祭です。当日は、音楽などの発表や軽食提供などの催しがありますので、どうぞお気軽にお越しください。